



▲決意を書いた色紙を手に、植樹した桜の苗木を囲む生徒

将来の目標に向かって決意をあらたに！

2/1
新和

～新和中学校・立志式～

2月1日、新和中学校(内保良隆校長・全生徒96人)で、昔の“元服”にちなんだ「立志式」が行われ、同校2年生の生徒25人が参加しました。式典では、生徒たちが色紙に書いた言葉をもとに、将来の目標や決意を発表。また、記念講演では、自動車販売会社社長・中山進さんが「一人前の社会人になるため今やるべき事」と題し、社会人としての心構えなどを話されました。その後、生徒たちは同校の正門付近に、桜の苗木の記念植樹を行いました。

中世の城跡に思いをはせる

2/6
倉岳

～宮田城跡の遺跡見学会～

「宮田城跡の遺跡見学会」が2月6日、同城跡があったとされる宮田公民館の裏山で開かれ、地区住民など40人が参加しました。これは市文化課が、昨年12月に行われた地上デジタル放送・中継局建設に伴う、埋蔵文化財の確認調査結果を見学してもらおうと実施。参加者は、同城跡を散策しながら、市学芸員からの説明を受け15・16世紀の中国産陶磁器の破片や、柱穴の遺構などを見学し、当時のようすや暮らしぶりに思いをはせていました。



▲学芸員の説明を熱心に聞く参加者

故郷への思いが花になる

1/24
河浦

～ふるさと会交流記念植樹～

河浦まちづくり協議会は1月24日、東京・近畿の両河浦会から寄せられた寄付金の一部で購入した、桜の苗木2本を河浦支所周辺に植樹しました。これは同協議会が、両河浦会のさらなる発展と、地元とのきずなをより深めることを祈念して植えられたもので、記念植樹には松尾良司・同協議会会長のほか、安田市長なども参加しました。

また、これにあわせて同支所周辺では、地区住民150人が参加して桜の苗木30本の植樹も行われました。



▲記念植樹を行うようす



▲心の込もった郷土料理をほおぼる高校生たち

郷土の味をいつまでも忘れずに

2/6
栖本

～高校3年生を郷土料理で送る会～

2月6日、「高校3年生を郷土料理で送る会」が栖本福祉会館で行われ、栖本在住の高校3年生30人が招待されました。これは、就職や進学でふるさとを離れる高校生に、郷土の味をいつまでも忘れずにがんばってもらいたいと、市社会福祉協議会・栖本支所が毎年実施。生徒たちは、地元の老人会が心を込めて作ったがね揚げや茶飯など、合計19品の郷土料理を堪能。参加した山下幸大さんは、「この味を忘れずに勉学に励みたい」と話していました。



▲咲き誇る菜の花を眺めながら歩く参加者

菜の花の美しさに春を感じて

1/31
有明

～くすぼ菜の花フェスタ・ウォークラリー～

1月31日、「くすぼ菜の花フェスタ・ウォークラリー」が楠南公民館一帯で開催され、市内外から約700人が参加しました。これは、同フェスタ実行委員会が実施しているもので、今年で2回目。参加者は、5.7kmと3.5kmのコースに分かれて、氏神を祭る11の神社を巡りながら、約30ヘクタールの田園に咲き誇る菜の花を満喫。また、ゴール後は、豚汁などのサービスや農作物が当たるお楽しみ抽選会も行われ、楽しいひとときを過ごしていました。

スイセンの香りに誘われて

2/7
牛深

～すいせん祭り～

2月7日、(社)天草宝島観光協会・牛深支部主催の「すいせん祭り」が、牛深町の遠見山すいせん公園と中央公園で開催され、市内外から約500人が訪れました。これは、遠見山に植えられた、約45万本のスイセンの開花にあわせて毎年実施。催しでは、スイセンの球根の無料配布やつきたてのもちがふるまわれたほか、バザーなどが行われにぎわいをみせました。また、牛深ハイヤ保存会や牛深高校郷土芸能部による牛深ハイヤ踊りも披露されました。



▲威勢よくもちをつくようす

栖本オリジナル商品の第6弾誕生！

2/1～
栖本

～キーホルダー「カッパワー君」販売中～

栖本まちづくり協議会では、2月1日から栖本オリジナル商品の第6弾として、「カッパワー君」を販売しています。この商品は、カップをモチーフにしたタテ・ヨコ約3cmの陶器製の人形に、潜在能力を呼び起こすといわれている、直径約1cmの水晶の玉を付けたキーホルダー。「勝つ」・「パワー」を身につけてほしいとの願いが込められています。

現在、栖本温泉センターなどで販売中。詳細は同協議会事務局(栖本支所・総務振興課内)☎@3111へ。



▲1個650円で販売。発送も受付中